

水 野 博 議員



公共施設と遊具の 安全対策について

問

市内の公共施設および遊具の安全対策について質問する。報道されている各地の施設や遊具の事故は、安全管理、点検不足のためだと私は思う。

6月に弥生小学校の体育館を借用した際に照明が消えた。

利用者が配電盤を確認したところ、ボルトの接点の緩みから電源が落ちたようであった。しかも、中には綿ぼこりがたまっており、一つ間違えば火災等で大惨事になるところであった。役所の点検はどのようにしているのか。

専門業者への委託と
日常点検を行っている

答 管財課長

公共施設の専門・技術的な管理・点検は専門業者に委託している。

日常点検は学校の場合は校務主任、市役所は管財課が主となるなど、器具等の不具合がないか注意し、安心で安全な施設であるよう心掛けています。

何10年と点検して
いないのではないか

問

先ほど言った弥生小のほこの件は、何10年と点検していないのではないか。

今後注意していきたい

答 教育部次長

学校の電気設備と消防設備の点検等は全小中学校が年2回、家用電気工作物の保安業務は毎月1回は点検している。

配電盤等については家用電気工作物になるが、今後十分業者とも話をし、そういうことのないように注意していきたいと考えている。

▼弥生小学校体育館(昭和55年築)

